交通工学研究会

共同研究・受託研究のご案内

交通工学研究会研究委員会

研究企画小委員会

2019/8/6

共同研究・受託研究とは

- 趣旨
  - 民間企業，道路会社，関連団体，自治体等のみなさんの抱えている課題に対し，交通工学研究会会員である学識経験者やコンサルタント，シンクタンクなどの民間企業技術者の中から最適な人材によるチームを編成し適切な対応策を提案します.
- 種類

共同研究	研究会会員から選出されたプロジェクトメンバーが委託者と共同で研究を進めるもの.
受託研究	委託者からの依頼を受け研究会会員から選出されたプロジェクトメンバーで研究を進めるもの.

ご活用いただきたい場面！



国交省職員

事故が減らない交差点があり、対策してきたが事故が減らない。もっと有効な対策がないか？



自治体職員

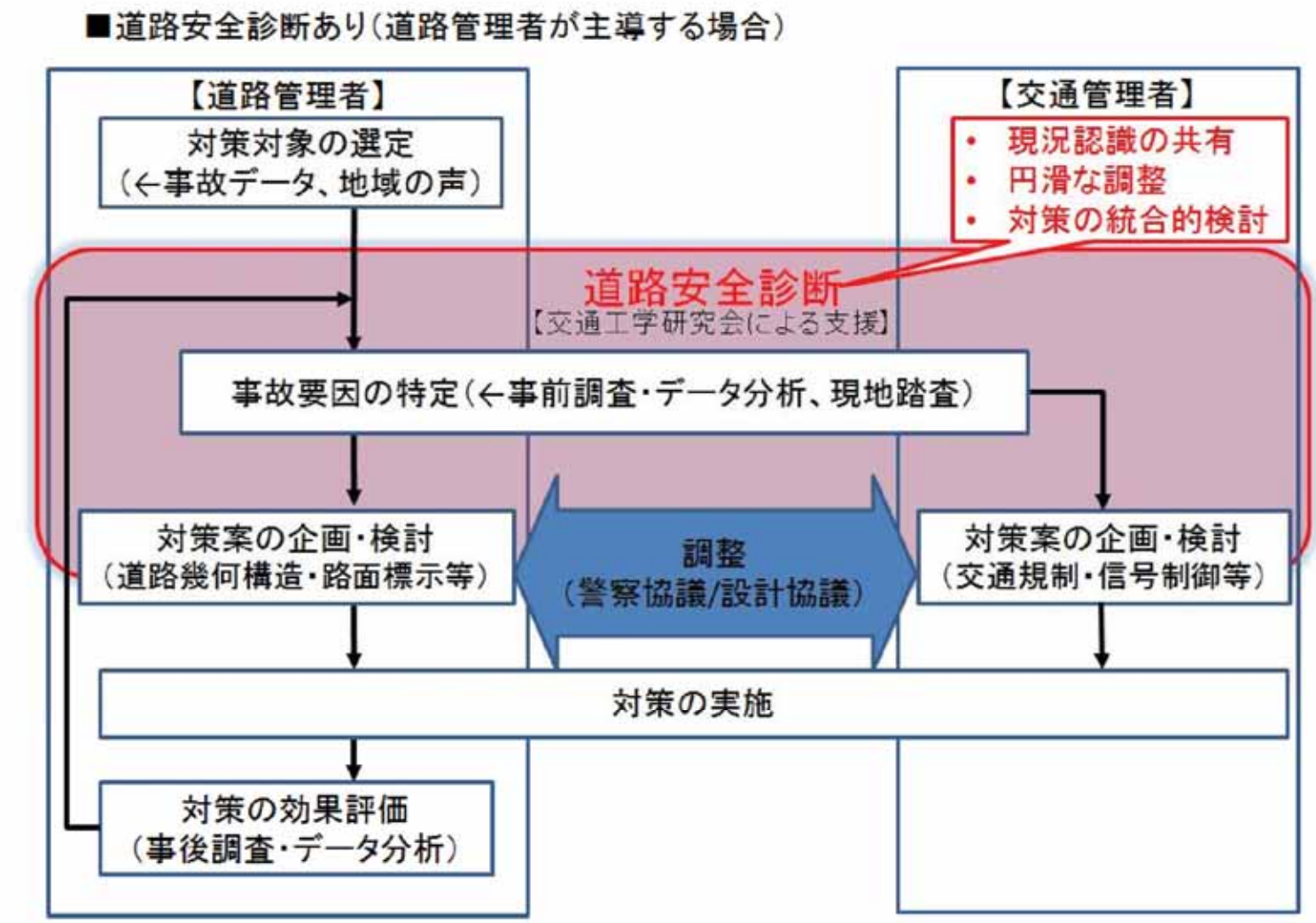
生活道路で児童の安全を守るための有効な対策を考えたいが、実施方法がわからない。

▶ 道路安全診断をご提案します。



- 交通工学研究会では、受託研究として、国交省千葉国道事務所や東京国道事務所等の道路安全診断を実施した実績があります。
- 道路安全診断は、学識経験者や専門技術からなる診断チームにより、現地踏査から対策の方向性を示すものです。専門的な知識とともに、第３者視点からの提案が効果的であるという評価を受けています。
- 幹線道路、生活道路どちらも実績があります。
- 道路安全診断ガイドライン（案）を作成し、Web上で公表しているので是非ご活用ください。

道路安全診断のメリット



注）交通管理者が主導する場合は、「対策対象の選定」、「事故要因の特定」および「対策の効果評価」が交通管理者側に移動する。

図－1　道路安全診断の有無別の交通安全対策事業の流れ

出典：道路安全診断ガイドライン（案）(一社)交通工学研究会　2018年7月27日

ご活用いただきたい場面！



自治体職員

地域にラウンドアバウトを導入したいが、どのような手段で実施してよいかわからない。



コンサル職員

ETC2.0プローブデータが蓄積されてきた。道路の必要性や効果等を検証する新たな指標を業務に取り入れたい。

- 自主研究の知見をベースに各種取り組みを支援します。



- 交通工学研究会では、自主研究として、各種の取り組みを実施しています。これらの研究で得た知見を活用し、受託研究として、各機関の取り組みを支援することが可能です。
- 主な自主研究は以下の通りです。この他多数あります。

ETC2.0データを活用した道路の信頼性評価に関する研究
ラウンドアバウトの計画と設計に関する研究
自転車通行システム整序化に関する研究
二段階横断施設の適用性に関する研究

ご活用いただきたい場面！



高速会社職員

交通安全、円滑化、自動運転等の交通に関する様々な課題に対し学識経験者の助言をいただきながら施策を検討したい。



高速会社職員

高齢者の事故が増えてきた。様々な知見を有する学識経験者を意見を聞きながら対策を検討したい。

- 多様な学識経験者ネットワークを活用した委員会等の運営



- 交通工学研究会は、前述の自主研究等を通じて、様々な分野の学識経験者等のネットワークを保有しています。
- これらのネットワークを活用し、これまでも多くの委員会運営を支援しています。

高齢者対策検討会運営補助
交通安全対策検討会等運営に係る業務
横浜環状線南線交通対策検討技術検討委員会
都市内における工事中交通マネジメント評価他研究業務委員会運営

ご活用いただきたい場面！



メーカー職員

交通工学の観点を踏まえた新たな事業や社会貢献を行いたい。



メーカー職員

海外での交通課題を改善する施策を提案したい。

- 最新の知見を取り入れた共同研究の実施



- 交通工学研究会は、様々な学識経験者のネットワークとともに、知見を有しています。
- これらを活用し、これまでも多くの民間各社との共同研究実施しています。

センサーインフラがないアジアの諸都市における交通モニタリング
東南アジア都市における交通流と移動のモニタリング技術
交通管制のための交通状況と交通需要の推定
技術カーシェアリングと路外駐車場の活用方策に関する研究

共同研究で実施した大規模実験の例

目的

- MACアドレスの受信可能性
- 交通量を推定できるか

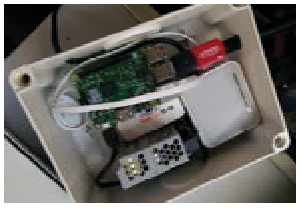
スキャナー

- 52か所のポリスボックスに設置

チュラロンコン大学構築(42か所)

地域未来研究所構築スマートフォンのアプリを利用したスキャナ（10か所）



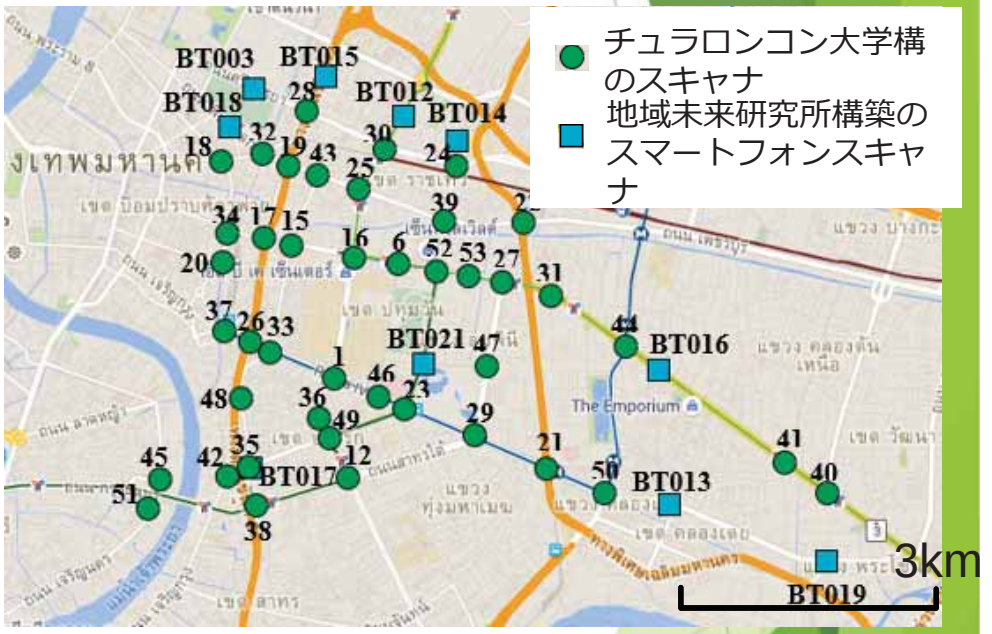






場所

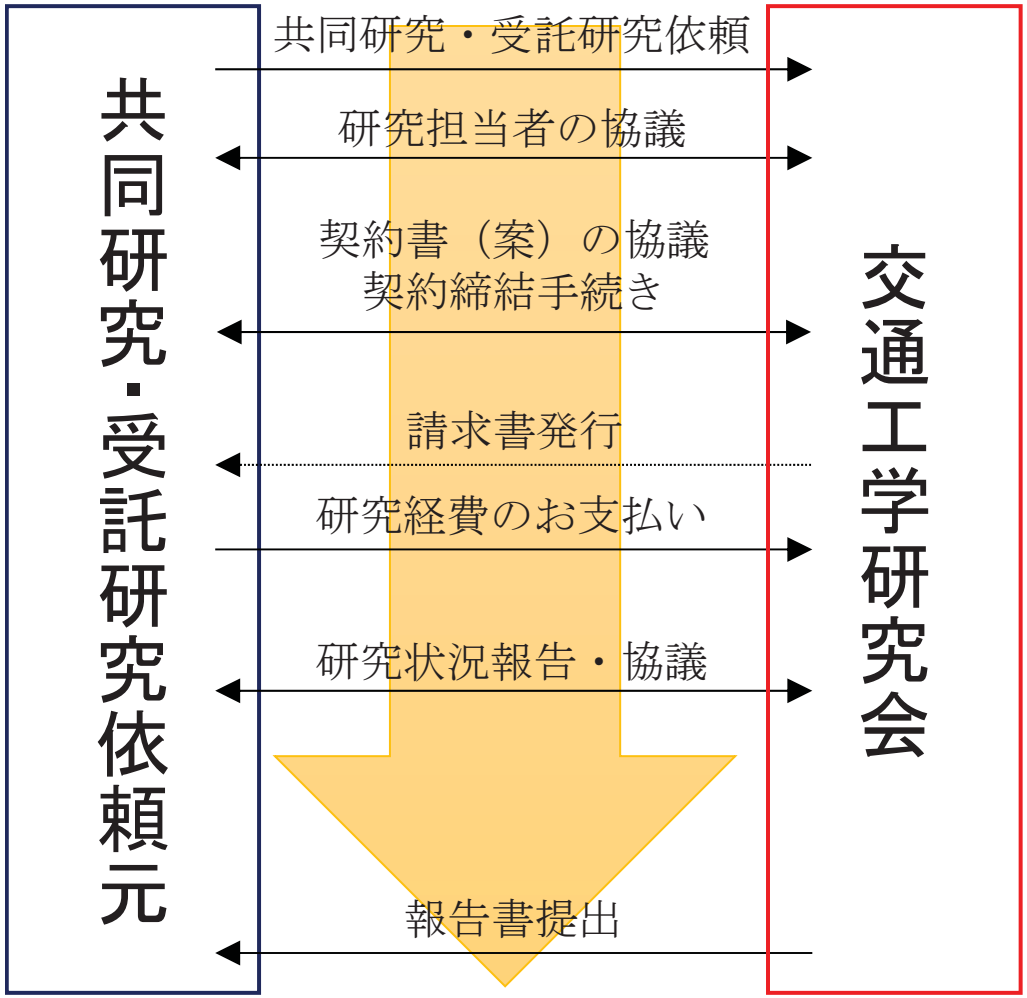
タイ・バンコク



参考：同一縮尺の東京



手続きの流れ



共同研究･受託研究の手続き

要望に対して臨機応変に対応します．詳しくは事務局までお問い合わせください．

契約の方式

- 受託研究
  - ＪＶ
    - 国交省等の業務でコンサルタントとＪＶで応募することが多いです。
    - 自主研究のテーマを受託研究として実施する場合、この方式が多いです。
  - 再委託
    - 国交省や高速会社の業務で、主にコンサルタントから再委託を受けて実施する場合が多いです。
    - 道路安全診断や委員会運営はこの方式が多いです。
- 共同研究
  - 共同研究に関する契約書を個別に締結します。

交通に関連するテーマであれば何でも対応できます！
まずはご一報を！

問い合わせ先:

一般社団法人　交通工学研究会　研究委員会担当

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-23

Tel　050-5507-7153　　Email　jstekenkyu@jste.or.jp